

札幌市篠路コミュニティセンターの指定管理者の選定結果について

1 選定委員会開催経過

第1回 平成29年8月9日 募集要項、選定方法等について

第2回 平成29年10月5日 書類審査、面接審査、選定

2 選定委員会委員

委員7名（市職員1人、外部委員6人）

委員長 石井 吉春 北海道大学公共政策大学院特任教授

委員 倉知 直美 公認会計士

委員 小澤 祐介 社会保険労務士

委員 菊池 洋子 児童デイサービス「コンチェルト」統合施設長

委員 篠井 錬治 北区青少年育成委員会連絡協議会議長

委員 中山 昭弘 北区老人クラブ連合会会長

委員 宇賀治 努 北区市民部長

3 応募団体

1団体（非公募）

特定非営利活動法人ワーカーズコープ（※現指定管理者）

非公募により応募を求めた理由：別紙のとおり

4 選定結果（指定管理者候補者）

(1) 選定された団体

特定非営利活動法人ワーカーズコープ

代表理事 田嶋 羊子 東京都豊島区東池袋1-44-3池袋ISPタマビル

(2) 選定の理由

特定非営利活動法人ワーカーズコープの提案書では、篠路コミュニティセンターの管理運営業務の各要求水準を満たしており、さらに、篠路コミュニティセンターの選定基準に照らし、平等利用の確保の点で公平性の観点に基づいた方針を立て、施設の効用発揮の点で地域の特徴や利用者ニーズを十分に把握した内容となっている。

また、経営の安定性の点で安定した管理を行う経営能力を備えており、管理費用の縮減の点で効率的運営の工夫が積極的に図られた提案となっており、高い評価を得た。

以上の点から、篠路コミュニティセンターの設置目的を効果的に達成するために、特定非営利活動法人ワーカーズコープは指定管理者の候補として適切であると判断された。

(3) 評価結果

選定基準	配点	候補者
①平等利用の確保	5点	5.0点
②施設の効用発揮	85点	66.2点
③雇用安定への寄与	30点	27.2点
④安定経営能力	50点	47.6点
⑤管理経費の縮減	30点	29.2点
合計	200点	175.2点
得点率	—	87.6%

別紙

選定方法を非公募とした理由

区民センターは、地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与することを目的として、全10区に設置している施設である。

また、区民センターの機能を補完し、地域における住民の自主的な活動を促進することを目的として、市内26か所にコミュニティセンター及び地区センターを設置している。

今日、地域社会においては、町内会加入率の低下、一人暮らしの高齢者の増加や核家族化の進行などによって生じる住民相互の関係性の希薄化など、様々な課題が存在しているところ、区民センターは、その設置目的から地域住民が集う地域コミュニティ形成の場として、これらの課題解決に重要な役割を担っており、課題解決に当たっては、地縁による人間関係又は信頼関係の構築が、より一層求められている。特に東日本大震災をきっかけとして、地域社会における絆（きずな）の重要性が改めて指摘されてきているところである。

区民センター、コミュニティセンター及び地区センター（以下「区民センター等」という。）が、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らが区民センター等の管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。

さらに、区民センター等は、災害時には避難施設となる地域における防災の重要な拠点でもある。このような区民センター等を、地域の実情を熟知し、避難住民との信頼関係が構築されている団体が継続して管理運営を行うことにより、災害時において円滑な管理運営が行われるという効果も見込まれるところである。

以上のことから、札幌市区民センター条例において、施設の設置目的の実現を図るため、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当該区民センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせることができることとされている。

特定非営利活動法人ワーカーズコープは、これまでの指定管理期間において、地域住民と運営方法について十分な意見交換を行うなど、地域住民と良好な関係を築いていることから、地縁による団体である篠路連合町内会より引き続き指定管理者として推薦を受けており、また、これまで良好に札幌市篠路コミュニティセンターの管理運営を行ってきた。ついては、特定非営利活動法人ワーカーズコープに引き続き指定管理者としての申込みを求め、札幌市篠路コミュニティセンターに係る指定管理者を非公募とする。